

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|----------------------|-----|----------------|
| ○事業所名 | NPOあゆむ あゆむZIBUN LABO | | |
| ○保護者評価実施期間 | 令和7年 1月 24日 | | ～ 令和7年 2月 7日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 17名 | (回答者数) 12名 70% |
| ○従業者評価実施期間 | 令和7年 1月 24日 | | ～ 令和7年 2月 7日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 8名 | (回答者数) 8名 100% |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 令和7年2月 13日 | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|---|---|---|
| 1 | 「行きたいときに行ける。」「この場所ならいける。」等子ども達の気持ちに合わせた利用ができる。 | <ul style="list-style-type: none"> いつでも来て良い雰囲気作りに心がけている。 いつも笑顔を忘れず対応することを心がけている。 | <ul style="list-style-type: none"> 楽しい雰囲気作りの継続。 * 子供たちの気持ちに寄り添った会話の実施。 子供達やスタッフと一緒にゲーム等の活動の実施。 |
| 2 | 専門職の配置により学習の支援や遊びを通して体を使った運動を本人の気持ちに寄り添いながらの実施。 | <ul style="list-style-type: none"> 事業所到着した際、当日の予定と一緒に確認する。 PCをみながら体操やダンスの実施。 学習ソフトや学習プリントを活用したり点つなぎや文字探しなど遊びながら学習へとつながる支援を行っている。 | <ul style="list-style-type: none"> 学習や運動を頭に入れながら今までの支援の継続。 子供達一人一人の能力を把握し、現状にあった支援の実施。 支援後の情報共有。 |
| 3 | | | |

| | 事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|--|--|--|
| 1 | 学習ソフト用・マイクラソフト、検索やゲームなどで使用するPCが数台あるが子供たちが好きなPCの活動が多くなっているように感じられる。 | <ul style="list-style-type: none"> パソコンに向かう時間の長さ(マイクラ1時間・ゲーム1時間)。 本人の気持ちに寄り添った支援がPC中心になっていた。 | <ul style="list-style-type: none"> PCに取り組む時間についての検討。 * :ゲーム用のPC使用は20分ずつにする。 ボードゲームや体を動かす遊び等を活動に取り入れる。 支援内容や方法、その時の様子など情報共有の実施。 |
| 2 | 個別支援計画を立案し支援を行っているが、内容の理解や把握までには至っていない。 | <ul style="list-style-type: none"> いつでもPCで確認できるようにしているが、送迎・支援などで見る機会が少ない。 個別支援計画書や記録の重要性についての理解不足。 | <ul style="list-style-type: none"> 個別支援計画書や記録の重要性をスタッフ会議等で伝え意識を持てるようにする。 いつでも確認できるようファイルの準備。 記録時間の確保。 |
| 3 | | | |